



わらわら・ゆがわらの



学習支援と居場所づくり

足柄下郡の「生活困窮世帯等の子どもの学習支援・居場所づくり事業」を受託して、あっという間に1年が過ぎました。この学習支援教室の名前が「わらわら・ゆがわら」です。「わらわら・ゆがわら」は教室というより、子どもたちの学校、家庭以外の第3の居場所として、子どもたちが安心して過ごせる場所をめざしています。

毎回の参加者は平均して6人くらい。中学生でも、小学3年生程度のドリルから学ぶ子もいます。高校受験のために勉強をしている子どももいます。ほとんど中学校に行けなかった子どもが、ここで少しずつドリルをこなしながら、スタッフとのおしゃべりができるようになりました。一人一人のレベルとニーズにあわせて、基本的にはマンツーマンで対応しています。ここで、大活躍してくれているのが大学生ボランティア。子どもたちと、youtubeや、アニメ、バイトの話など、若者同士の話題で盛り上がっています。

「わらわら・ゆがわら」では、みんながよく話を聞いて子どもたちに向き合っているのので、子どもたちもリラックスして過ごしています。勉強に疲れたら、自由に休んだり、漫画を読んだり、まったりしています。



年6回行う居場所では、みんなで楽しめるイベントを考えています。どら焼きづくりなどのおやつ系イベントは人気がありました。イベントの時にやるゲームも子どもたちのお楽しみ。家族や大人数で遊んだ経験が少ないようで、七並べやババ抜きも盛り上がります。人生ゲームも、スタッフも含めみんなで大いに楽しみました。

クリスマス会では、地域の方や生活クラブから寄付でいただいた文房具やTシャツなどをセットしてプレゼントにしていますが、そのプレゼントを選ぶ目が真剣そのもので、とても喜んでもらえました。子どもたちが「疲れた」、とか「もう勉強やりたくない」と言いながらも、毎回通ってくれているのを励みに、「わらわら・ゆがわら」をさらに楽しい居場所にしていきます！

はたらっく・ゆがわら代表 柏木晶子

